



収蔵品管理データベース

# MuseumMate II

ミュージアムメイト

Collection Management System for Museum

収蔵品のデジタル管理が容易にでき、  
日常業務を強力にサポートします。



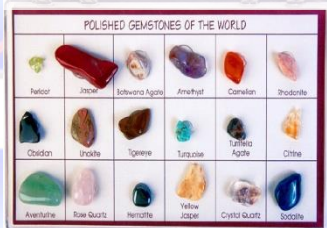
<http://www.cbs-j.com>

# ミュージアム情報の整理と情報共有のために

## The best solution **MuseumMate II**

収蔵品管理データベース

作品登録



作家登録



作品情報検索



地域検索



分野検索



- MuseumMate II は簡単に効率よく、データベースを構築できます。
- 情報の管理と活用がシンプルになります。
- 多様な収蔵品の情報をスムーズに検索、共有できます。
- インターネット経由での情報受発信ができます。

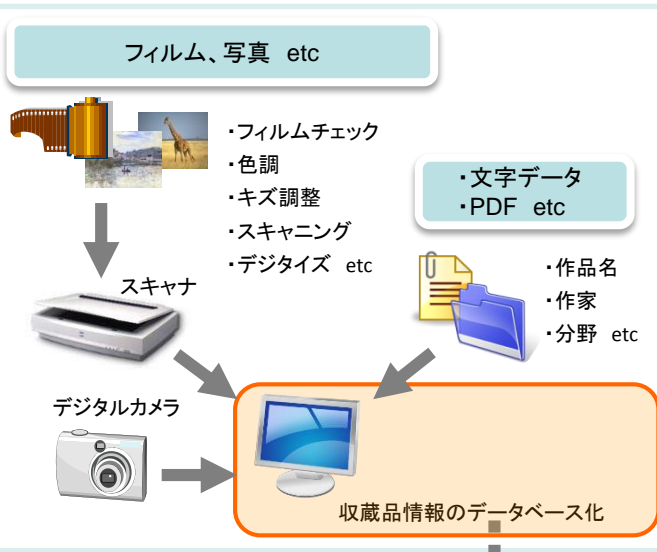
多くの収蔵品、展示品を持っている美術館・博物館は、その作品の管理をはじめ、展示、貸出、修復などの業務や企画展示、調査研究、教育普及など様々なレベルでの業務が日常的に行われています。

MuseumMate II はCBS情報が開発した収蔵品管理システムです。美術館・博物館の日常業務を強力に支援します。

- ・大容量のサーバーを必要としません。
- ・パソコン1台からでも収蔵品のデータベースが実現できます。
- ・収蔵品の管理に欠かせない写真も枚数や大きさに制約はありません。
- ・高機能・低価格です。

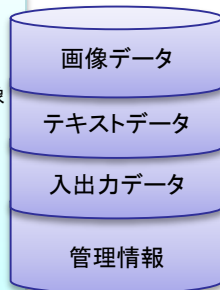
## 資料情報のデジタル化

- 簡単に、効率よく、データベースを構築できます。
- ・画像データの制作はスキャナまたはデジタルカメラを使います。
- ・画像はシステムが自動的に最適サイズに変換します。
- ・デジタル化の完了した画像データをデータベースに登録します。
- ・画像データとテキストデータを関連付けします。



## 収蔵品データベース構築

- 情報の管理と活用をシンプルに
- ・収蔵品の貸出し、展示、修復などの履歴管理が机上のパソコンでできます。
- ・収蔵品の展示状況や貸出し状況などが画像情報付きで1点単位に管理できます。
- ・物品情報や関連情報の印刷、一覧表ファイルの作成など、学芸員の日常活動をこのシステムがサポートします。
- ・館の収蔵品情報を半永久的なデジタルアーカイブとして、登録保存できます。



## 作品の調査・研究

- 多様な収蔵品の情報をスムーズに検索、共有できます。
- ・情報を体系的に、集約し、管理できるので、アクセスが素早くでき、作品の調査・研究の支援ができます。
- ・収蔵品の様々な視点から検索できるので、知識や情報の蓄積と共有ができます。

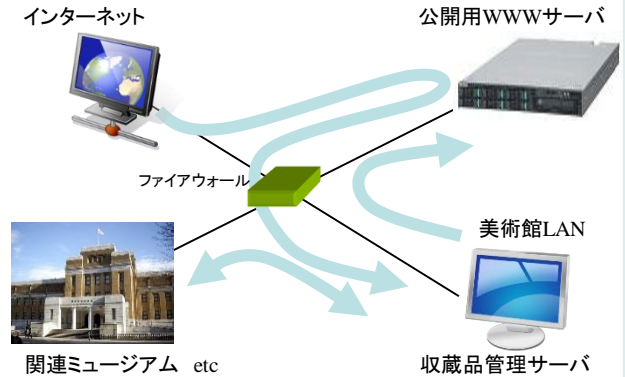
(画面例) トップ画面

画像表示画面



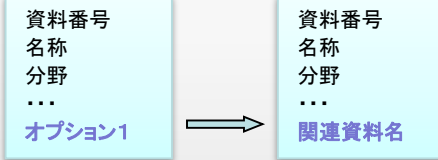
## ミュージアム情報の国内外への発信

- インターネット経由での情報受発信ができます。
- 国内外の美術館や学校、自治体との情報交換、情報提供が容易に実現できます。



## MuseumMate II 五つの特徴

- 項目を増やすことが簡単にできます。
- 追加オプション項目機能を持っています。
- 自由な項目名で表現できます。



- 作品の画像枚数の制限はありません。
- 1作品に全体図やクローズアップ等、何枚でも画像を登録することができます。
- 表示画像は自動的にサイズ変更します。
- [アイコン画像ファイル]・・・50×50ピクセル
- [小サイズ画像ファイル]・・・240×180ピクセル
- [中サイズ画像ファイル]・・・400×300ピクセル
- [大サイズ画像ファイル]・・・800×600ピクセル
- 情報の二次利用ができます。

- ・文化財DBへの登録が容易にできます。
- ・作品の情報はCSV形式のデータで取り出すことができますので、EXCELやワードなどで加工することができます。

- 簡単操作で、しっかりセキュリティ管理

- ・利用者一人一人にユーザーIDとパスワードを与えることができ、しっかりセキュリティ管理ができます。また利用者登録や環境設定もシステム管理機能がサポートします。

ユーザー名、分野名、地域名、時代名、コード登録等

## システム構成

### 最小構成

PCサーバ1台にモニター  
だけで運用

(ノートPCでも可)



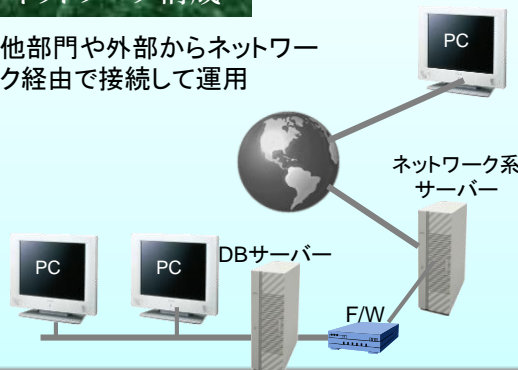
### 標準構成

DBサーバにクライアント  
PCを複数台接続して運用



### ネットワーク構成

他部門や外部からネットワー  
ク経由で接続して運用



\*システム構成の違いは容量や台数、接続環境等が異なるだけでMuseumMate IIの機能の違いはありません。

## 動作環境

サーバ	分類	製品
	OS	WindowsServer2008,2012
	DB	MySQL
	WebSv	Apache2.0+Tomcat6.0

クライアント	分類	製品
	OS	Windows 7,Windows8.1
	ブラウザ	Internet Explorer 6.0以降
		Firefox

## 商品構成

- ・ケース1: 一単体売りの場合ー 標準価格での提供及びカスタマイズ費 (保守料は年間契約)
- ・ケース2: 一利用料契約の場合ー 標準提供品を月利用料と保守料のセットで契約(標準カスタマイズのみ)
- ・ライセンス: MuseumMate II のライセンスはサーバーにセットアップした数です。(クライアント数は任意です)
- ・標準カスタマイズ: 項目名、ロゴ、画面部品です。マニュアルは別途承ります。
- ・ユーザー個別カスタマイズ: 画面レイアウト変更、項目長変更等のカスタマイズも別途承ります。
- ・その他: ハードウェアの購入代行(販売)、ネットワーク構築、関連ソフトウェア制作、データ入力支援等  
(詳細はお問合わせ願います)

<開発・製造・販売元>

### 株式会社シービーエス情報

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町2-4-8 井門茅場町ビル7F

TEL 03 - 5623 - 2248 FAX 03-5623-3302

http://www.cbs-j.com

Mail cbsinfo@cbs-j.com

●WindowsServer,Windows,InternetExplore,その他マイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporationおよび、またはその他 の関連会社の商標です。

●その他記載されている会社名、製品名、ロゴ等は各社の登録商標または商標です。

●製品の仕様は予告なく変更される場合があります。予め、ご了承ください。